



平成26年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月4日

上場会社名 株式会社 メディアシーク

上場取引所 東

コード番号 4824 URL <http://www.mediaseek.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 直紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長 (氏名) 根津 康洋

TEL 03-5423-6600

四半期報告書提出予定日 平成26年3月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第2四半期の連結業績(平成25年8月1日～平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第2四半期	771	19.9	17	—	29	—	△16	—
25年7月期第2四半期	643	△10.4	△74	—	△38	—	△51	—

(注) 包括利益 26年7月期第2四半期 46百万円 (188.0%) 25年7月期第2四半期 16百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第2四半期	△1.74	—
25年7月期第2四半期	△5.31	—

(注) 当社は、平成26年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年7月期第2四半期	2,172	1,673	73.8	164.48
25年7月期	1,976	1,608	78.9	160.72

(参考) 自己資本 26年7月期第2四半期 1,602百万円 25年7月期 1,558百万円

(注) 当社は、平成26年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年7月期	—	0.00	—	—	—
26年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,553	12.8	1	—	21	21.8	5	87.7	0.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成26年7月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該分割を考慮して額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年7月期2Q	9,766,800 株	25年7月期	9,721,500 株
② 期末自己株式数	26年7月期2Q	23,300 株	25年7月期	23,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年7月期2Q	9,725,074 株	25年7月期2Q	9,698,200 株

(注) 当社は、平成26年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に景気回復に向けた変化の兆しは見られるものの、実体経済への中長期的影響については先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、法人事業において、主に既存クライアントに対しシステムコンサルティング業務による売上を計上しました。コンシューマー事業においては、「贅沢なオルゴール」、「スーパーボディ」等、既存のコンテンツ配信サービスによる売上を計上したほか、各種モバイル機器向けにバーコードリーダーのライセンス販売を行いました。また、スマートフォン向け無料提供アプリ「バーコードリーダー/アイコニット」は、平成26年1月に累計900万を超えるダウンロードを達成し、急速にユーザーを拡大しております。その結果、主に法人事業において、システムコンサルティング業務の受注が拡大し売上高及びセグメント利益が前年同期に比べ拡大したことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、771,694千円(前年同期比19.9%増)、営業利益は、17,354千円(前年同期は、74,780千円の営業損失)、経常利益は、29,218千円(前年同期は、38,016千円の経常損失)、四半期純損失は、16,970千円(前年同期は、51,475千円の四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

(法人事業)

法人事業においては、主に既存クライアントに対するシステムコンサルティングサービスを実施しました。システムコンサルティング業務に対する需要が拡大し、受注が比較的安定的に拡大したことから、その結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益が前年同期に比べ拡大し、売上高は、587,680千円(前年同期比47.4%増)、セグメント利益は、157,484千円(前年同期比93.2%増)となりました。

(コンシューマー事業)

コンシューマー事業においては、スマートフォン販売が引き続き拡大し、国内市場での従来型の携帯電話からスマートフォンへの移行が急速に進みつつあります。当社グループにおいては、既存コンテンツ配信サービスによる売上を計上したほか、各種モバイル機器向けにバーコードリーダーのライセンス販売を行いました。また、スマートフォン向け無料提供アプリ「バーコードリーダー/アイコニット」は、平成26年1月に累計900万を超えるダウンロードを達成しました。その結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、184,014千円(前年同期比24.8%減)、セグメント利益は、4,620千円(前年同期は、11,506千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,172,203千円(前連結会計年度末から195,705千円の増加)となりました。

このうち、流動資産は、1,397,660千円(前連結会計年度末から253,324千円の増加)となりました。これは、主として法人事業で大型の受注案件が増加したため売掛金が180,271千円増加したこと及び投資有価証券の売却額を原資とした新規取得により有価証券が94,056千円増加したことによるものです。

固定資産は、774,543千円(前連結会計年度末から57,619千円の減少)となりました。これは、主として投資有価証券が時価の上昇と売却により差引57,078千円減少したことによるものです。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債は、498,964千円(前連結会計年度末から131,276千円の増加)となりました。

このうち、流動負債は、308,615千円(前連結会計年度末から95,805千円の増加)となりました。これは、主として短期借入金が40,000千円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が30,492千円増加したこと及び未払法人税等が15,618千円増加したことによるものです。

固定負債は、190,349千円(前連結会計年度末から35,471千円の増加)となりました。これは、主として長期借入金が35,628千円増加したことによるものです。

なお、借入金の増加は、主として子会社において大型の受注案件の増加に伴い、運転資金が必要になったことによるものです。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,673,239千円(前連結会計年度末から64,429千円の増加)となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が42,760千円増加したこと及び少数株主持分が20,489千円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、期首に比べ18,617千円減少し、724,802千円(前連結会計年度末は、743,420千円)となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次の通りです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、165,199千円の支出(前年同期は、98,606千円の支出)となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益を27,216千円計上した一方で、法人事業で大型の受注案件が増加したため売上債権が180,009千円増加したことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、23,392千円の収入(前年同期は、144,716千円の支出)となりました。これは、主として有価証券の取得及び投資有価証券の取得・売却により差引16,360千円の収入を得たこと及び定期預金の払戻により10,000千円の収入を得たことによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、122,094千円の収入(前年同期は、175,431千円の収入)となりました。これは、主として短期借入れによる収入・返済による支出により差引40,000千円の収入を得たこと及び長期借入れによる収入・返済による支出により差引65,561千円の収入を得たことによるものです。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月期の連結業績予想については、概ね当初の業績予想通りに推移しているため、平成25年9月6日に公表しました業績予想の数値に、変更はありません。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	752,808	724,802
売掛金	362,548	542,820
有価証券	—	94,056
商品	151	151
仕掛品	2,028	4,831
その他のたな卸資産	4,218	1,846
その他	28,466	30,327
貸倒引当金	△5,885	△1,176
流動資産合計	1,144,335	1,397,660
固定資産		
有形固定資産	39,167	40,929
無形固定資産		
のれん	1,949	523
その他	6,227	5,396
無形固定資産合計	8,176	5,920
投資その他の資産		
投資有価証券	646,304	589,226
その他	165,164	169,884
貸倒引当金	△26,650	△31,415
投資その他の資産合計	784,818	727,694
固定資産合計	832,162	774,543
資産合計	1,976,498	2,172,203
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,865	25,528
短期借入金	10,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	74,208	104,700
未払法人税等	10,818	26,436
賞与引当金	4,504	2,942
その他	87,413	99,007
流動負債合計	212,810	308,615
固定負債		
長期借入金	133,204	168,832
資産除去債務	19,414	19,550
その他	2,259	1,967
固定負債合計	154,878	190,349
負債合計	367,688	498,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,962	823,267
資本剰余金	948,203	956,507
利益剰余金	△75,208	△92,178
自己株式	△39,678	△39,678
株主資本合計	1,648,278	1,647,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△85,405	△42,644
為替換算調整勘定	△4,192	△2,653
その他の包括利益累計額合計	△89,597	△45,298
少数株主持分	50,128	70,618
純資産合計	1,608,809	1,673,239
負債純資産合計	1,976,498	2,172,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 8 月 1 日 至 平成25年 1 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 8 月 1 日 至 平成26年 1 月31日)
売上高	643,504	771,694
売上原価	406,563	500,935
売上総利益	236,940	270,759
販売費及び一般管理費	311,721	253,405
営業利益又は営業損失 (△)	△74,780	17,354
営業外収益		
受取利息	2,218	1,586
受取配当金	3,558	1,456
投資有価証券売却益	7,436	3,382
複合金融商品評価益	15,210	7,561
為替差益	8,282	—
その他	1,910	457
営業外収益合計	38,616	14,444
営業外費用		
支払利息	1,568	2,068
その他	284	512
営業外費用合計	1,852	2,580
経常利益又は経常損失 (△)	△38,016	29,218
特別利益		
固定資産売却益	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産除却損	—	3
関係会社株式売却損	—	677
持分変動損失	—	1,327
特別損失合計	—	2,007
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△38,016	27,216
法人税、住民税及び事業税	6,253	24,184
法人税等調整額	1,846	270
過年度法人税等	142	—
法人税等合計	8,242	24,455
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△46,258	2,761
少数株主利益	5,216	19,731
四半期純損失 (△)	△51,475	△16,970

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△46,258	2,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,795	42,760
為替換算調整勘定	1,604	970
その他の包括利益合計	62,399	43,730
四半期包括利益	16,140	46,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,628	27,329
少数株主に係る四半期包括利益	5,512	19,162

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成26年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△38,016	27,216
減価償却費	13,961	10,397
のれん償却額	974	748
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,461	55
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△225	△1,562
受取利息及び受取配当金	△5,776	△3,042
支払利息	1,568	2,068
株式交付費	—	46
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7,436	△3,382
複合金融商品評価損益 (△は益)	△15,210	△7,561
為替差損益 (△は益)	△9,416	△279
固定資産売却損益 (△は益)	—	△5
固定資産除却損	—	3
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	677
持分変動損益 (△は益)	—	1,327
売上債権の増減額 (△は増加)	45,237	△180,009
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,535	△432
仕入債務の増減額 (△は減少)	△36,073	△336
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,940	6,846
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	596	△605
その他の資産の増減額 (△は増加)	△5,574	△2,664
その他の負債の増減額 (△は減少)	△16,506	△3,688
小計	△83,954	△154,184
利息及び配当金の受取額	4,422	1,482
利息の支払額	△1,753	△2,145
法人税等の支払額	△17,321	△10,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	△98,606	△165,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,938	△2,862
有形固定資産の売却による収入	—	5
無形固定資産の取得による支出	△972	△111
有価証券の取得による支出	—	△101,334
投資有価証券の取得による支出	△204,714	△202,786
投資有価証券の売却による収入	115,488	320,481
敷金及び保証金の回収による収入	420	—
定期預金の預入による支出	△50,000	—
定期預金の払戻による収入	—	10,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,716	23,392

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成26年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	60,000
短期借入金の返済による支出	△36,000	△20,000
長期借入れによる収入	130,000	110,000
長期借入金の返済による支出	△18,539	△44,438
株式の発行による収入	—	16,610
株式の発行による支出	—	△46
配当金の支払額	△29	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	175,431	122,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,861	1,094
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△60,030	△18,617
現金及び現金同等物の期首残高	1,020,358	743,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	960,328	724,802

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	法人事業	コンシューマ ー事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	398,788	244,716	643,504	—	643,504
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	28,629	—	28,629	△28,629	—
計	427,417	244,716	672,134	△28,629	643,504
セグメント利益又は損失(△)	81,513	△11,506	70,006	△144,786	△74,780

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年8月1日 至 平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	法人事業	コンシューマ ー事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	587,680	184,014	771,694	—	771,694
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	20,849	—	20,849	△20,849	—
計	608,529	184,014	792,544	△20,849	771,694
セグメント利益	157,484	4,620	162,104	△144,749	17,354

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社管理部門の費用です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割及び単元株制度の採用)

当社は、平成25年9月25日開催の取締役会決議に基づき、平成26年2月1日付で株式分割及び単元株制度の採用を実施いたしました。

1 株式分割及び単元株制度の採用の目的

全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、当社株式を上場している証券市場における利便性、流動性の向上に資するため、1株を100株に分割するとともに、100株を1単位とする単元株制度の採用を実施いたしました。なお、本株式分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

2 株式分割の概要

(1) 分割の内容

分割する株式の種類 普通株式

分割比率 1 : 100

平成26年1月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主が所有する当社株式を、1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

株式分割前の発行済株式総数 97,668株(平成26年1月31日時点)

今回の分割により増加する株式数 9,669,132株

株式分割後の発行済株式総数 9,766,800株

株式分割後の発行可能株式総数 30,000,000株

※なお、本件分割により株式の数に1に満たない端数は生じません。

(2) 分割の日程

基準日公告日 平成26年1月14日

基準日 平成26年1月31日

効力発生日 平成26年2月1日

新規記録日 平成26年2月1日

3 単元株制度の採用

(1) 新設した単元株の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたしました。

(2) 新設の日程

効力発生日 平成26年2月1日

※上記の単元株制度の採用に伴い、平成26年1月29日をもって東京証券取引所における売買単位も1株から100株に変更されました。